

(宛先) 小金井市

申込書に記入された介護者と同一の方を記入してください。

システム利用確認書

介護者 住所  
氏名  
電話

高齢者住宅火災直

登録カードに記載する緊急連絡先と同一の方を記入してください。  
(介護者と同一でも問題ありません。)

頁を確認します。

1 希望する救急通報協力者(居住管理協力者)は、救急直接通報・住宅火災直接通報システム利用者登録カードのとおりです。

2 緊急事態発生の際は、次の親戚

氏名	住

住宅の所有者の方を記入してください。  
(システム設置の承諾を必ず得てください。)

3 利用者は、木造の一戸建てに居住しています。

4 利用者が居住している住宅の所有者は、次のとおりです。高齢者住宅火災直接通報システム設置の承諾は得ています。

氏名	続柄	住所	電話番号

原則として、(1)に○をお願いします。特別な事情がある方はお電話でご相談ください。

5 鍵の管理は、次のとおりです。

- (1) 救急通報協力員又は居住管理協力者に預ける
- (2) その他

登録カードに記入する居住管理協力者の方を記入してください。(介護者と同一でも問題ありません。)

6 救急通報を発生し、東京消防庁救急通報協力員等関係機関の住宅内への立ち入り

7 緊急時に救急通報協力員等関係機関が住宅内に立ち入った場合、住宅等の一部に破損が生じて、修復責任を負いません。

8 救急搬送された場合等の住居の管理協力者は、次のとおりです。

氏名(法人名)	住所(所在地)	電話	備考
		自宅 携帯	

9 貸与を受けた高齢者住宅火災直接通報システム機器を善良な管理の下に使用し

これを転貸し、NTTアナログ回線以外をご利用の方は、(2)に○をしてください。申込書10 私又は等を市が受け取って内容を確認次第、市からご連絡します。停電時のシステム不具合等にご納得いただければ、承諾書もご提出ください。実費を賠償

11 高齢者住宅火災直接通報システムを必要としなくなったときは、速やかに市に返還します。

12 使用される回線について(該当する回線に○をお願いします。)

- (1) NTTアナログ回線
- (2) NTTアナログ回線以外の \_\_\_\_\_ 回線を使用します。承諾書は、添付のとおりです。